

# 新図書館の開館に向けた図書資料移転等業務の概要

## 事業趣旨

平成29年7月に予定している新図書館の開館に向けて、高知県立図書館及び高知市民図書館本館が所蔵している資料や家具什器などの移転や新図書館での排架を行うため、移転排架計画の策定から、運搬、新図書館での調整など、現図書館から新図書館への移転に関する全ての業務を一体的に実施し、新図書館の円滑な開館を目指す。

○H27当初予算額 **150,228千円** (H27～29債務負担)

○移転する図書資料

県立図書館 約87万冊  
高知市民図書館本館 約53万冊 **計 約140万冊(見込)**

新図書館の蔵書冊数  
収蔵能力 約205万冊  
(うち、開架 約35万冊)

## 主な業務内容

### 【業務①】移転排架計画の策定 12,243千円

現図書館から新図書館に図書資料や家具什器を効率的かつ効果的に移転・排架するため、県立図書館と高知市民図書館本館が所蔵する図書資料のデータを収集・集計した上で両館の資料データを一つにまとめて種類及び分類ごとに整理を行い、それを基に新図書館における詳細な配置計画の策定や、移転スケジュール等を作成する。

### 【業務②】運搬及び排架の実施 133,076千円

移転排架計画書に基づいて両館(館外書庫含む)の図書資料等を新図書館に運搬するとともに、計画と実業務に差異が生じた場合の調整、精密排架(県立図書館→市民図書館の順で運搬された図書資料を一体的に排架するとともに、全体の最終調整を行う)等を行う。

※(参考)梱包～運搬作業期間 約75日  
精密排架作業期間 約55日

### 【業務③】その他調整業務等 4,909千円

図書資料以外に複合施設への運搬搬入が必要な業務(新図書館情報システム機器や、こども科学館(仮称)や新点字図書館への機材等の搬入など)との搬入日程の調整や、新図書館の開館準備に向けた助言や開架図の作成等を行う。

新図書館移転スケジュール(予定)

